

# 栃木県環境基本計画の進捗状況 について

環境森林部 環境森林政策課

0

## 栃木県環境基本計画の進捗状況について

令和5(2023)年8月

- ◆ 本県においては、県の環境保全に関する基本目標と長期的な施策の方向を掲げた栃木県環境基本計画(令和3(2021)年3月策定)に基づき、県民、事業者及び市町の参加と協力のもとに、「守り、育て、活かす、環境立県とちぎ」の実現に向け取組を進めてきた。
- ◆ 令和5(2023)年3月に「2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ(令和4年3月策定)」や、「栃木県気候変動推進計画」の改定内容と整合を図るため、目標値の見直し(上方修正)を行った。
- ◆ 令和4(2022)年度における本計画の達成状況について評価したところ、**目標達成率は4.1%**であった。

### 【目標として設定した指標の状況(17指標項目)】

達成状況等	標記	指標項目数	達成率	
計画最終年度の目標値を達成したもの	◎	2	1.2%	4.1%
最新年度目標値を達成したもの	○	5	2.9%	
目標は未達成だが、前年度より改善したもの	△	6	3.5%	5.9%
目標は未達成で、前年度より改善していないもの	▲	4	2.4%	
	合計	17	10.0%	

※達成率は四捨五入による。このため合計が100にならない場合がある。

1

# 1 脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」

指標項目	設定値 (R1)	前年度 目標値	年度 目標値	計画目標値 (R7)	達成度
		前年度値 (R3)	現況値 (R4)		
(1) 温室効果ガスの排出削減					
①温室効果ガス排出削減率 (%) [H25(2013)年度比]	8.8㉑	10.4①	11.2②	32.0	○
		12.8①	16.2②		
②エネルギー消費削減率 (%) [H25(2013)年度比]	6.8㉑	10.5①	12.3②	21.4	○
		10.0①	13.6②		
③再エネ電力自給率 (%)	21.2	22.8	30.7	35.2	○
		26.5	33.3		
④電動車新車購入率 (%)	29.3	37.0	40.0	50.0	△
		31.1	36.7		
⑤再生可能エネルギー設備導入容量 (万kW)	262	284.6	321.0	380.0	○
		295.7	341.8		
⑥県内民有林の間伐面積 (ha)	3,254	3,500	3,500	3,500	▲
		3,357	3,177		

※数値の横に㉑等の丸囲みの数値は、その数値の年度のデータであることを示す。

# 1 脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」

## 【目標値未達項目の要因と対応方針】

### ④ 電動車新車購入率 (%) R4 : 36.7% (目標値 : 40.0%)

○ 電動車の新車購入率は、前年度比でEVは約3倍(0.5%→1.5%)、PHVは約2倍(0.5%→1.0%)と増加したものの、目標値未達となった。

⇒ 様々な機会を通じて普及啓発に努めるとともに、EV急速充電器補助事業等により充電インフラの充実を図るなど、電動車の普及を促進していく。

### ⑥ 県内民有林の間伐面積 (ha) R4 : 3,177ha (目標値 : 3,500ha)

○ ウッドショック等の影響により一時的に増大した木材需要に対応するため、R4年度は伐採や伐採後の植林等に注力してきたことにより、間伐面積は目標値未達となった。

⇒ スマート林業技術の導入に向けた検証を進めるなど、生産性の向上や造林作業の省力化を図り、間伐を促進していく。

## 2 自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」

指標項目	設定値 (R1)	前年度 目標値	年度 目標値	計画目標値 (R7)	達成度
		前年度値 (R3)	現況値 (R4)		
(1) 分散型エネルギーの自立化					
⑦電力自給率(%)	40.3	73.0	76.0	85.0	○
		66.9	78.2		
(2) エネルギー需給体制の強靱化					
⑧地域電源供給拠点数(箇所)	0	10	20	50	▲
		0	0		

※数値の横に㊸等の丸囲みの数値は、その数値の年度のデータであることを示す。

## 2 自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」

### 【目標値未達項目の要因と対応方針】

⑧ 地域電源供給拠点数(箇所) R4 : 0箇所(目標値 : 20箇所)

○ 再生可能エネルギーを導入した事業所を広く対象としたが、費用の面から拠点の確保につながらなかった。

⇒ R5から自立型パワーコンディショナーへの補助を追加し、国庫補助金との併用を可能とすることで、地域電源供給拠点の整備を働きかけていく。

### 3 良好な生活環境が保全された「とちぎ」

指標項目	設定値 (R1)	前年度 目標値	年度 目標値	計画目標値 (R7)	達成度
		前年度値 (R3)	現況値 (R4)		
(1) 大気環境の保全					
⑨大気環境基準 (NO <sub>2</sub> ) 達成率 (%)	100	100	100	100	◎
		100	100		
(2) 水環境の保全					
⑩公共用水域の環境基準 (BOD) 達成率 (%)	96.9	100	100	100	◎
		100	100		
⑪生活排水処理人口普及率 (%)	87.7	89.6	90.5	93.0	△
		88.8	89.3		
(5) 資源循環の推進					
⑫県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の 排出量 (g)	672 <sup>㉑</sup>	666 <sup>㉒</sup>	661 <sup>㉓</sup>	650	△
		699 <sup>㉒</sup>	682 <sup>㉓</sup>		
⑬県内で排出された廃棄物の最終処分量 (千t) 【一廃】	57 <sup>㉑</sup>	56 <sup>㉒</sup>	55 <sup>㉓</sup>	53	△
		63 <sup>㉒</sup>	58 <sup>㉓</sup>		
⑭県内で排出された廃棄物の最終処分量 (千t) 【産廃】	87 <sup>㉑</sup>	86 <sup>㉒</sup>	85 <sup>㉓</sup>	84	▲
		87 <sup>㉒</sup>	88 <sup>㉓</sup>		

※数値の横に㉑等の丸囲みの数値は、その数値の年度のデータであることを示す。

6

### 3 良好な生活環境が保全された「とちぎ」

#### 【目標値未達項目の要因と対応方針】

⑪ 生活排水処理人口普及率 (%) R4 : 89.3% (目標値 : 90.5%)

○ 下水道普及率については、処理区域拡大等により伸びたが、浄化槽等の処理施設の普及率が減少し、全体として目標値未達となった。

⇒ 「栃木県生活排水処理構想」に基づき、公共下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の経済的かつ効率的な整備を推進していく。

⑫ 県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量 (g) R3 : 682g (目標値 : 661g)

○ R3年度は新型コロナウイルス感染症の流行下における在宅時間が前年度に比べて短縮したことにより生活系一般廃棄物の排出量は減少したものの、目標値未達となった。(流行前のR元年度実績は672g)。

⇒ 市町等に対する研修会等を通じて、ごみの排出抑制及び資源の分別推進の啓発と機運醸成を支援する。

7

### 3 良好な生活環境が保全された「とちぎ」

#### 【目標値未達項目の要因と対応方針】

⑬ 県内で排出された廃棄物の最終処分量（千t）【一廃】R3：58千t（目標値：55千t）

○ R3年度は新型コロナウイルス感染症の流行下における在宅時間が前年度に比べて短縮したことにより一般廃棄物の最終処分量は減少したものの、目標値未達となった。

⇒ 市町等に対する研修会等を通じて、ごみの排出抑制及び資源の分別推進の啓発と機運醸成を支援する。

⑭ 県内で排出された廃棄物の最終処分量（千t）【産廃】R3：88千t（目標値：85千t）

○ R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していた製造業の生産活動が徐々に回復したことで、鉱さいの排出量が増加し、それに伴い最終処分量が増加したため、目標値未達となった。

⇒ 研修会の開催、廃棄物処理法に基づく減量等に関する計画の活用等を通じて、多量排出事業者等による排出抑制の取組を促進する。

### 4 人と自然が共生する「とちぎ」

指標項目	設定値 (R 1)	前年度 目標値	年度 目標値	計画目標値 (R 7)	達成度
		前年度値 (R 3)	現況値 (R 4)		
(2) 森林・みどりづくり活動の推進					
⑮造林面積 (ha/年)	408	500	575	700	△
		387	431		
(3) 自然の利活用・環境整備					
⑯自然公園入込数 (千人)	22,795	24,200	24,400	25,000	△
		15,378	16,852		
(4) 野生鳥獣の適正管理					
⑰野生獣による林業被害額 (億円)	1.35	1.27	1.23	1.10	▲
		1.50	1.81		

※数値の横に㉑等の丸囲みの数値は、その数値の年度のデータであることを示す。

## 4 人と自然が共生する「とちぎ」

### 【目標値未達項目の要因と対応方針】

⑮ 造林面積 (ha/年) R4 : 431ha (目標値 : 575ha)

○ ウッドショック等の影響により一時的に増大した木材需要に対応するため、R4年度は伐採や伐採後の植林等に注力してきたことにより、造林面積は前年度に比べて増加したものの、目標値未達となった。

⇒ スマート林業技術の導入に向けた検証を進めるなど、生産性の向上や造林作業の省力化を図り、皆伐後の再造林を促進していく。

⑯ 自然公園入込数 (千人) R4 : 16,852千人 (目標値 : 24,400千人)

○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により、自然公園入込数が減少した。

⇒ ポストコロナを見据え、国内外からの誘客を促進するため、日光国立公園満喫プロジェクト「ステップアッププログラム2025」の取組を、国や市、地元関係団体などと連携して積極的に推進していく。

10

## 4 人と自然が共生する「とちぎ」

### 【目標値未達項目の要因と対応方針】

⑰ 野生獣による林業被害額 (億円) R4 : 1.81億円 (目標値 : 1.23億円)

○ 被害面積は昨年度と比べ横ばいであったが、シカ等による被害面積や価値の高い壮齢林被害の増加により、目標値未達となった。

⇒ 野生獣による林業被害額の軽減を図るため、市町が行うシカ捕獲への支援や県による捕獲の推進、わなの見回り負担軽減に向けたICT技術の実証のほか、忌避剤散布等による防護を強化していく。

11